

別紙様式（第7条関係）

平成 26 年 11 月 21 日

報 告 書

島田市議会議長 河原崎 聖 様

島田市議会議員 佐野 義晴

島田市議会議員 曾根 嘉明

島田市議会議員 森 伸一

島田市議会議員 藤本 善男

島田市議会議員 八木 伸雄

島田市議会議員 横田川真人

島田市議会議員 桜井 洋子

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

- 1 日時 平成 26 年 11 月 14 日（金）
午後 7 時 00 分から午後 9 時 10 分まで
- 2 会場 川根支所 大会議室
- 3 参加者数 21 人（男性 19 人、女性 2 人）
- 4 役割
 - (1) 受付 全員
 - (2) 司会 佐野義晴
 - (3) 挨拶（概要） 曾根嘉明
 - (4) 報告 （総務消防）森 伸一（経済建設）藤本善男
（厚生教育）八木伸雄
 - (5) 答弁 全員
 - (6) 記録 桜井 洋子

5 報告事項

(1) 議会の活動の動向の市民への報告について

① 総務消防常任委員会

- ・ 軽自動車等の税率改正について
- ・ 補正予算（新市誕生 10 周年記念事業、市民憲章の制定について
- ・ H25 決算（市の花・木・鳥制定事業の経過、地域おこし派遣事業、農家民宿、FM 島田の難聴対策について

② 厚生教育常任委員会

- ・ 補正予算（川根小学校建設費の国の過疎債大幅減額について、国保会計事業での糖尿病患者の実態に関して、新病院建設は現地建て替えて基本計画に移行、赤字を抑えた病院経営について
- ・ 家庭的保育事業に関する条例で保育ママの資格に関すること

③ 経済建設常任委員会

- ・ 補正予算（森林施設で使う機械整備への補助について、川根温泉のメタンガス発電について、道路整備での過疎債の減の影響について
- ・ H25 決算（地積調査事業での川根地区の実態について、コミュニティバスの運行について、

④ 報告に対する質疑

Q コミュニティバスに関すること

- ・ 家山—川口間の無料コミバスについて、無料だと若い人も乗るので、大井川鐵道への影響がさらに出てしまうのではないかと。年齢制限はあるのか。
- ・ コミュニティバスの運行全体の見直しが必要。乗り合い、デマンド型などの検討も。
- ・ 抜里から家山まで出るのに足がない。家族や近所に頼れないが、小型の車で送迎できないか。
- ・ 市民病院まで乗り換えなしでコミバスを利用できるようにならないか。

A、 家山—川口間は、試行運行でやっている。正式な路線化は大井川鐵道に影響を与えてしまう。市民病院へ乗り継ぎなしの直行便や小型のデマンド型の要望等も多い。市ではコミバス全体の見直しも検討し、議会の特別委員会でも検討してきた。H28 から見直しされる前にヒアリングもある。これからも地域の情報提供をお願いしたい。

Q、森林施設で使う機械は、どこで使われるのか。

A、1台は森林組合で、もう1台は(株)スンエンだ。

Q、メタンガス発電は民間に委託するのか。

A、鉱業権の取得が必要だ。H28年度に本格的に予算付けされる予定なので、これからだ。

(2) 意見及び情報の交換

- ・ 大井川鐵道沿線にイベント会場をつくり、乗客を増やす取り組みが必要だ。例えば、野守の池でのラジコンボート大会、中高生のエレキバンドフェスタ、地元産市など、にぎわいを演出する取り組みを協働ですすめたい。
- ・ 茶業が大型化し、兼業では生産が追いついていかない。経費も大変だ。結局、お茶をやめて、耕作放棄地をつくってしまう。対策と耕作放棄地への指導はどうなっているか。
- ・ 公平、公正と言うが、そうっていない。どこの市民にも当てはまることである。
- ・ 集落座談会で中山間地の現状を受け止めてもらった。都会からの滞在型の体験プラン、東海自然歩道を生かす取り組みなど提案する。
- ・ 市民病院で診てもらえず藤枝市立病院へ回されたり、開業医へ行って重篤化した例などある。開業医と市民病院(病診)連携ができているのか。
- ・ かわね保育園の民営化の話はどうなっているか。

(3) 市等への要望事項

- ・ 川根温泉ホテルを災害時の避難場所とするよう提携してほしい。(市へ)
- ・ 耕作放棄地への対策・指導をお願いする。(市へ)
- ・ 台風19号の時、FM 島田からの情報がなかった。普段の放送を中断しても必要な情報を伝えてほしい。(市へ)
- ・ 集落座談会で出したものを具体的に議会としてもすすめてほしい。
- ・ 空き家を追跡調査し、対策をたててほしい。(市へ)

6、まとめ

中山間地が抱えている地域の課題がたくさん話され、有意義であった。大井川鐵道が減便する中で、地域の足となる公共交通を確保する要望は強い。まちづくりでは、伊久美や川根地域の財産を生かした滞在型、周遊型での人を呼び込む具体的提案があり、行政・事業者・市民(地域)との「協働」が課題である。報告会は、市民の要望を聞き、それらを行政に繋ぐだけの場ではなく、議会としてどう対応していくのかが問われている場でもあることを確認した。